

平成26年度 第2回 評価委員会の意見要旨

第1-1-（1）救急医療について

- ・質的向上は頑張っているものの、目標指標である応需率と実績には少し差がある。

第1-2-（2）高度で専門性の高い医療の提供について

- ・高度で専門性の高い医療の提供についての評価は難しいが、後期研修医が集まる病院かどうか一つの判断基準。今後、堺病院がそのような病院で在り続けていただきたい。

第1-3-（1）医療安全対策等の徹底について

- ・昨年度よりインシデント報告件数が増加し、アクシデント報告数が減少するとともに、アクシデント発生率が公的病院における全国平均の半分以下であることは、高く評価できる。

第1-4-（1）患者サービスの向上について

- ・厚生労働省が行っている受療行動調査における堺病院と同規模程度の病院の患者満足度と比較すれば、堺病院は非常に高い目標を掲げて努力を行っている。

第1-5-（1）地域医療機関との連携推進

第1-5-（2）地域医療への貢献について

- ・堺病院に対する地域医療機関の評判はすこぶるよい。
- ・開放型病床を持っていても利用が少ないという医療機関が多い中、高い利用率となる効果的な取り組みをしているのは、評価できる。

第1-5-（6）市民への保健医療情報の発信について

- ・堺市の人口を考えれば、公開講座の参加人数は少ない。もう少しやり方を工夫し、より多くの市民が参加できる方法を考えていただきたい。

第3-1 経常収支の黒字の達成

第3-2-（1）収入の確保

第3-2-（2）費用の削減

- ・法に基づき、市は不採算な政策医療などのため運営費負担金を支出しているが、この負担を極力軽くする努力が必要である。
- ・不採算医療の範囲をどう捉えるのかは非常に難しい。
- ・収入の確保は、非常に努力しており、評価できる。
- ・退職金給付制度の変更は大きな費用削減効果ではあるが、これ以外の方法による費用削減にも取り組んでもらいたい。

全般的な評価の考え方

- ・評価5とするには、頑張っていることが客観的に誰にもわかる必要がある。